

第4回「くすりのしおりクラブ」担当者会議議事録

日時:平成 23 年 2 月 17 日(木) 14:00～17:00

会場:大手町サンスカイルーム 27 階 A 室

出席者:

「くすりのしおりクラブ」会員社 担当者	97 名	(85 社)
講演者	1 名	
関係者他	4 名	
計	101 名	(事務局除く)

挨拶

くすりの適正使用協議会 理事長 海老原 格

さまざまな情報が世の中にあふれている時代に、どの情報が正しいのか見極めるのが必要である。

情報の 4 つの要素、とは

- ①新(更新された新しいものということ)
- ②質(内容の質が高いということ)
- ③量(出来るだけ多くの情報量が必要ということ)
- ④益(わかりやすいということ)

「くすりのしおり」は、患者さんが医薬品を理解する上でこの 4 つの要素が網羅されており、世の中で認められてきている。従って、皆様には、患者さんにとって一番わかりやすい情報は皆様が作成された「くすりのしおり」であると自負していただきたい。

しかし、いまだに医薬品に関する情報が、患者さんに十分伝わっていない現状がある。医療専門家が患者さんに服薬指導するとき、もう少しわかりやすい情報の必要性から「くすりのしおり」が開発されたが、医療専門家の中でも「くすりのしおり」を使い切っていないところもある。

これからさらに、皆様の努力の結晶である「くすりのしおり」を拡げ、掲載数も増やしていきたい。そのためには、「くすりのしおり」の登録システムも見直す必要があり、「くすりのしおりクラブ」の皆様のご協力が必要となる。皆様には、国民(患者さん)の健康と生命の維持のために寄与しているという視点で、引き続きご協力賜りたい。

講演 「調剤薬局でのくすりのしおりの利活用」

株式会社アインファーマシーズ

上席執行役員 医薬事業部副事業部長 土居由有子先生

(略)

議事

(1)概況

レーダー出版センター松田氏により、CSR(社会貢献分野)の観点から「くすりのしおり」の意義について述べられた。

(2)「くすりのしおり®」利用状況

レーダー出版センター松田氏により「くすりのしおり®」利用状況の報告があった。

1. 「くすりのしおり®」サイトでの利用状況

ホームページに掲載された医薬品数は、内服・外用剤:9,712、注射剤:940 合計 10,652 であることが報告された。その内英語版については、内服・外用:1,172、注射版 91。(平成 23 年 1 月末)
平成 22 年 2 月から 12 月まで、ページアクセス数は、約 40 万～50 万であったが、平成 23 年 1 月に 50 万を突破した。

2. 「くすりのしおり®」リンク利用

2007 年から実施

- ・独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の患者向医薬品ガイドとのリンクを開始
- ・アイ・エム・エス・ジャパン株式会社
安心処方 infobox

3. 「くすりのしおり®」データ提供先での活用医療関係(薬局)などでの活用

- ・日本医師会総合政策研究機構 日本医師会 ORCA Project
- ・東日本メディコム株式会社 対話型電子薬歴管理システム「DrugstarCereb EX」
- ・株式会社ズー 源内
- ・三洋電機株式会社保険薬局用レセプトコンピューター「PharnesII」 搭載
- ・三重県立総合医療センターほかくすり検索ポータルサイトでの活用
- ・エムスリー株式会社 医師に相談できる Q&A サイト アスクドクターズ
- ・株式会社 QLife QLife お薬検索
- ・株式会社オールアバウト 薬検索

③ モバイルアプリケーションでの活用

- ・株式会社ズー
メディスキャン (iPhone アプリ)
- ・株式会社 Qlife
iPhone アプリ「処方薬&市販薬検索アプリ」
Android 端末向けアプリ「処方薬&市販薬 お薬検索～調べて安心のお薬情報検索アプリ～」
- ・ソフトライフ株式会社
モバイルおくすり手帳サービス「おくーす・りー」

(3)「くすりのしおり®」運用状況

1. 「くすりのしおり®」掲載依頼数及び掲載数

「くすりのしおりクラブ」会員社からの掲載依頼数は、年間でみると薬価収載のタイミングと同時期の 4 月～6 月および 9 月～11 月に集中している。平均すると 1 日当たり 20～30 件の更新作業を行っていることが報告された。また、「くすりのしおり」をデータ提供することにより「くすりのしおり」を掲載してほしいという利用者の要望が検索サイト経由で入ってくるようになった。

2. 「くすりのしおりクラブ」会員数推移

「くすりのしおり」会員数は、平成 23 年 1 月現在 136 社であることが報告された。

3. 「くすりのしおりクラブ」経費

21 年度支出実績と 22 年度支出案が示された。

(4)「くすりのしおり®」作成時のお願い

1. 「くすりのしおり®」に関する QA について、レーダー出版センター東原から説明があった。

(1) 同一成分の「くすりのしおり」の整合性について

後発品の「くすりのしおり」は同一成分の先発の記載にあわせるべきか。

⇒

先発と後発の内容に関し、添付文書の内容が同様であるにもかかわらず、大幅なずれが生じている場合、修正の提案をしている。(先発、後発両者に提案する場合もあり)

「くすりのしおり」は「くすりのしおり」クラブ会員社の意見も尊重しながら確認しているので、先発と後発の「くすりのしおり」が、まったく同一(一字一句)になるとは限らない。

(2) 添付文書改訂前の「くすりのしおり」改訂について

添付文書改訂前だが、早急に医療機関へ連絡の必要があるため、先に「くすりのしおり」を改訂してもよいか。

⇒

「くすりのしおり」の改訂可能である。

医療機関や患者さんへの最新の情報として優先的に作業を進めるため、改訂の根拠となる「患者指導せん」や医療関係者向け案内文書などを「くすりのしおり」窓口に、送っていただきたい。

(3) 会社情報管理の登録者と自動配信送信先について

「くすりのしおり」アップロード・内容確認提案連絡・HP 掲載終了報告が自動配信されるが、その配信先は、「会社情報管理」で登録した「担当者 1」しか受取れないのか。「担当者 2」も登録済みだが、同時に受け取れないのか。

⇒

「くすりのしおり」自動配信は、1 対 1 のシステムなので、担当 1 の PW で管理画面をログインし、作業した場合、自動配信先は、担当 1 宛のみということになる。

(4) 英語版「くすりのしおり」作成について

英語版「くすりのしおり」作成を依頼したいが、手順を教えてほしい。

⇒

詳細は、「くすりのしおり」HP⇒くすりのしおり担当者の方へ⇒英語版くすりのしおりを参照の上、「くすりのしおり」窓口宛ファックスもしくは、e-mailで依頼いただきたい。

<http://www.rad-ar.or.jp/siori/sioritantosya/english.html>

(5) 「くすりのしおり」作成事例集(内服剤・外用剤)(H22 年 1 月について)

「くすりのしおり」作成のための事例集は、HP のどこにあるのか。

⇒

「くすりのしおり」HP⇒くすりのしおり担当者の方へ⇒内服外用くすりのしおりに薬効分類別に掲載しているので活用いただきたい。ご覧いただきたい。

<http://www.rad-ar.or.jp/siori/sioritantosya/naifukugaiyo.html>

(6) 「くすりのしおりクラブ」会員社サイトの「くすりのしおり」と協議会の「くすりのしおり」のダイレクトリンクについて

協議会 HP にある「くすりのしおり」を自社 HP の個々の「くすりのしおり」にリンクしたいのだが、簡単にできるのか。

⇒

ダイレクトリンクという方法があるので、「くすりのしおり」窓口に資料を請求いただきたい。メリットとし

ては、最初にリンク先を設定してしまえば、「くすりのしおり」の改訂掲載終了と同時に「くすりのしおり」クラブ会員社の「くすりのしおり」も改訂されるということが可能となる。

2. 「くすりのしおり®」原稿登録フォーム(β版)について、レーダー出版センター黒川から紹介があり、実際の登録画面を使用しながら、使い方の説明が行われた。β版は、2月21日(月)に「くすりのしおりクラブ」専用管理画面に組み込まれ、実際の作業が可能となる。ぜひ活用いただき、ご意見、ご要望など、お知らせいただきたい。

開発の経緯:これまで「くすりのしおり」のデータ(xml)作成ツールとしてEXCELテンプレートを使用してきたが、Microsoftのソフトウェアに依存しているため、WindowsやEXCELのバージョンが変わると作成できなくなる等の問題が生じていた。それを解決するため、「くすりのしおり®」原稿登録フォームを開発した。さらに「くすりのしおり」のデータ(xml)をWEB画面上から読み込み可能としたことで、改訂や用量違いの「くすりのしおり」作成時に、入力作業の大幅な軽減をすることができる。また、入力時に文言統制やエラーチェックがかかるため、入力間違いの少ないデータが作成可能となるなど、利便性を高めた。

(5)「くすりのしおり®」の今後の展開について

くすりの適正使用協議会事務局野村氏から説明があった。

1. 「くすりのしおり®」作成基準改訂案の提案(資料8)

今年度は、内服・外用剤と注射剤の作成基準を統合する検討、それに伴う登録システムの統一の検討を行ってきた。「[くすりのしおり®作成基準\(案\)](#)」をHP上に公開するので、内容について3月末までに確認いただき、意見や要望などをいただきたい。「くすりのしおり®作成基準」改訂版は、今年の7月の完成をめざしている。

改訂案作成までの経緯:くすりの適正使用協議会の活動組織であるコミュニケーション部会情報委員会では、平成21年度に下記の活動および検討を行ってきた。

- ①2009年5月15日から2009年6月1日にかけて200名の病院勤務の薬剤師を対象としてWeb上で利用実態の把握のため、アンケートを実施した。結果によると「くすりのしおり」の名前は知っているが、実際の利用は2割に留まっていることが明らかになった。
- ②「くすりのしおり」のテンプレートや内容について、内服・外用剤と注射剤の登録方法や記載内容についても統一できないかということを検討した。

作成基準の改訂ポイント:内服・外用・注射の作成基準を統合する(作成基準QAの内容も盛り込む)。記載内容の基準とくすりのしおり印刷用レイアウトとの基準とを区別して示す。

検討継続事項:重大な副作用の項目が添付文書に6つ以上ある場合、取捨選択が難しいとの多くの意見が入っており、現在の医療現場でのくすりのしおり活用方法などを踏まえて協議会内でさらに検討をすすめる。

2. 「くすりのしおり®」登録管理システム(システム構築)(資料9)

「くすりのしおり」登録システムの現状と必要性について説明があり、「くすりのしおり®」登録管理システムを構築するスケジュールが示された。

システム運用までのスケジュール

入札及び落札者決定:平成 23 年 5 月下旬

関係者参加型運用前試験:平成 23 年 12 月上旬～平成 23 年 12 月中旬

システム運用平成 24 年 1 月～

(6) 質疑応答

Q: 作成基準が今年の 7 月完成、それに併せてシステムを変更し、実際の運用が来年 1 月ということだが、それに伴う製薬会社側の作業はあるのだろうか。(キッセイ薬品工業株式会社)

A: システム移行に伴う作業は、企業側には発生しない。また、作成基準の改訂については、基本的には、内服・外用と注射剤の作成基準の統合が目的であり、コンセプトは一切変わらない。

Q: 注射剤についての内容確認は、内服・外用と同じに行われるのか。

A: システム変更後は、内服・外用・注射剤すべて同じ流れとなる。ついては、注射剤も内容確認を行う予定でおすすめしている。

Q: 現在、掲載している注射剤についても、その時点で内容確認され、修正提案がはいるのか。

A: その可能性はある。

Q: 2 月 21 日 (月) から「くすりのしおり」登録システム β 版が公開されるが、注射剤についてもそちらで登録するのか。作成されたものは、内容確認が入るのだろうか。(東和薬品株式会社)

A: 現時点では、作成の流れは変わらない。β 版は、エクセルテンプレートに代わるものとして使用してほしい。従って、入力の内服・外用・英語版のみとなっている。注射剤については、来年 1 月以降のシステムの改修後に同じ流れで進めていく予定であり、その時点から内容確認が入ると考えて頂きたい。

Q: 協議会で患者さんからハイリスク薬の問合せなど入っているのか。

A: 患者さんからの直接の問合せは受け付けていないので、その点でいうと情報はない。考えられるのは、個々の薬局が患者さんにハイリスク薬に対応している状況と考えられる。「くすりのしおり」は医療関係者、薬剤師が患者さんに対し、説明する資料というスタンスなので、できれば皆様の社内の MR さんを通して、現場の声を聞いていただき、今後の参考のためにもその要望をお聞かせいただければと思う。また、あるチェーン薬局がメーカーさんと相談して新たな資料を作成しているとも聞いている。ハイリスク薬の相談を受けたときには、「くすりのしおり」をうまく使っていただきたい。

Q: 新システムでは PDF と CSV が増えているが決定ということだろうか。(中外製薬株式会社)

A: CSV は現在も DDLs で提供しているところ。音声コード付きのくすりのしおりをワードで提供しているが、その場合、書き込むと文字と音声が変わってしまうという懸念がある。そこを解消するためには、PDF で提供いこうと検討した。また、医療関係者が加工できるようワードは引き続き提供する。

Q: 作成基準は、7 月完成、システムは来年 1 月完成ということだが、例えば今年の 8 月に注射剤を作ろうと思ったときに枠組みはどちらに合わせたほうがよいか。

A: あくまでも運用の変更は、来年 1 月ということなので、8 月時点では現状どおりでお願いしたい。

- Q：くすりのしおり原稿登録システムは、OS や Office のバージョンに依存しない Web 上での入力ということだが、IE6 のような古いブラウザでも大丈夫なのか。(大正富山製薬株式会社)
- A：IE6 はどうなのか、システム会社に確認する。
- Q：会社自体で統一されているので、ブラウザを勝手に変更することができない。
- A：「くすりのしおり」クラブのみなさんから、いろいろな意見をお聞かせいただき、使い勝手の良いものにしていきたい。
- Q：Q ライフの検索サイトは非常に使いやすいが、更新頻度はどのくらいなのか。
- A：Q ライフは 1 週間に一度の更新である。
- Q：一部写真が掲載されているのに、Q ライフの方に反映されていないが、何かの不具合なのだろうか。
- A：Q ライフのシステム上の問題かもしれない。何か気付いた点があれば逐次くすりのしおり窓口まで連絡をお願いしたい。
- Q：原稿登録フォーム β 版についてだが、作業の途中で中断することがあり、登録フォームすべて入力できない場合があるが、どうしたらよいか。一次保存が出来るのか。(持田製薬株式会社)
- A：一次保存機能があるので、保存したあと、再度 XML を読みこんでほしい。
- Q：製薬会社管理画面に右側にダウンロード数が記載されているが、どういう意味なのか。
- A：ホームページからダウンロードされた数、閲覧された数が累積として記載されている。
- Q：改訂前のもも累積されているのか。
- A：改訂前のもも含めた累積となっているが、一次 HP 掲載を取り下げしていた場合は、カウントがゼロになってしまう。
- Q：外部にデータを提供している分については、入っていないのか。
- A：外部データ提供先については、入っていない。

以上